

TOPICS

パーパスの実現に向けた取り組み ～Work Life Shift～

当社は全ての事業活動をパーパス実現のための活動とし、パーパス実現に向けお客様や社会への価値創造と自らの変革の観点から様々な取り組みを進めておりますが、特にみなさまからの反響が大きかった取り組みである「Work Life Shift」をご紹介します。



現在、多くの企業において、新型コロナウイルス感染症の拡大によって生じたニューノーマルにふさわしい働き方が求められており、当社では、「Work Life Shift」を2020年7月から実践しています。この取り組みを実践することにより、自らの企業文化をDX企業にふさわしいものに変革し、従来の働き方の概念を変え、多様な人材が場所や時間にとらわれることなく、社会の変革に貢献し続けることが可能となります。

「Work Life Shift」は、①仕事内容、目的、ライフスタイルに応じた「最適な働き方」を社員一人ひとりが自律的に使い分ける「Smart Working」、②勤務する場所に縛られない働き方とそれを支えるオフィスを実現する「Borderless Office」、③従業員の高い自律性と信頼に基づいたピープルマネジメントにより、チームとしての成果の最大化や生産性向上を実現し、新しい企業文化を創生する「Culture Change」の3つから構成されており、当社自身がICTを使って実現をするものです。

さらに、当社は、自社で「Work Life Shift」を実践することにより得られたノウハウとこれまで個別にお客様へ提供していたソリューションを「FUJITSU Work Life Shift」として体系化し、グローバルに提供することにより、社会全体の働き方改革やお客様のDXの実現にも貢献していきます。

「FUJITSU Work Life Shift」の詳細については下記ホームページをご覧ください。
<https://pr.fujitsu.com/jp/news/2020/10/9.html>

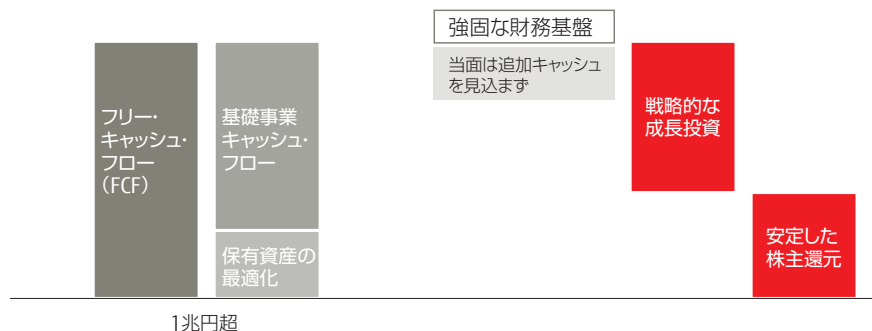
キャピタルアロケーションポリシー

今後5年間
(FY20-24)

- (1) キャッシュ・フロー：今後5年間で1兆円超のフリー・キャッシュ・フローを創出
- (2) アロケーション：キャッシュを成長投資と株主還元以最適配分

(1) キャッシュ・フローの安定的な創出

(2) アロケーションの考え方



2020年7月に発表した財務目標である「キャピタルアロケーションポリシー」についてご紹介いたします。

当社では、ここ数年取り組んできたビジネスモデルの変革が進み、財務基盤の安定性が増してまいりました。そこで、事業の成長に加え保有資産の最適化を進めることにより、今後5年間で1兆円超のフリー・キャッシュ・フローを創出し、創出したキャッシュを成長投資と株主還元以最適配分する、という「キャピタルアロケーションポリシー」を定めました。

成長投資については、今後5年間で5,000～6,000億円規模を見込んでおり、DXを支えるテクノロジーやソリューションの開発に重点を置くとともに、他社との業務提携やM&A、ベンチャー投資、自らの変革に向けた社内DXの推進も行っています。

株主還元については、事業と利益の成長ステージに合わせ、中長期に安定的かつ持続的に行う方針とし、配当は、安定的な実施を目指します。加えて、資金需給バランスも見ながら、長期間留保している余剰資金を原資に機動的な自社株買いも行っています。

ニューノーマルの時代において、社会やお客様に長期的に安定した貢献を行っていくためには、当社自身の継続的な成長が必須であると考えており、当社は、この「キャピタルアロケーションポリシー」に基づき中長期的な視点に立った企業価値の向上を進めていきます。